

## 広島県鉄構工業会

### 青年部会長に有地氏

【福山】広島県鉄構工業会の青年部会長は1



あいさつする有地部会長

日、広島県福山市で第27回通常総会を開催し19人が出席、役員改選を行い、新しい部会長に有地康史・成伸工業社長を選出した。

開催にあたり、来賓として出席した広島県鉄構工業会の佐藤賢副理事長（協栄建設工業

社長）は「青年部のフアブリケーターが参加する鉄骨製作部会が、日本建築学会中国支部の建築文化賞を受賞したことは喜ばしい。次世代を担う技術者や後継者が手を取り合って、青年部メンバーが発展していくことを祈念している」とあいさつした。

続いて部会長の船山聖喜・三和鉄構建設工場長は「広島で開催された全国大会も会員の皆様のご協力で、無事に終えることができた。広島県の青年部は使用済みの溶接用チップとノズル回収により換金した金額がトップで、社会福祉法人へ車椅子寄贈の取り組みに大きく貢献した。今年度は鉄骨研究に関する予算を親会に十分取っていたので、有意義に使っていきたい」と述べた。

船山部会長からバトンを引き継いだ、有地新部会長は「現在、フアブリケーターの事業環境は良い。懇親会を開くなどで、横のつながりを強めていきたい。みんながやってくれたと思える職業にするために、若い力で2年間頑張ろう」と意気込みを語った。